



- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

いっぽんぎ

夏休み作品展会

2階ねまり場において夏休み作品展会が開かれました。ホールには子ども達が夏休み中に取り組んだ自由研究や工作などの作品が展示されました。素晴らしいアイデアに出会うことができるので、私自身この作品展をととても楽しみにしていました。

キット等をできるだけ活用しないで、身近な材料で工夫を凝らして丁寧に制作した作品が多く、新鮮な驚きがありました。子どもだけでは難しい部分などは保護者の皆様のお手伝いがあったことと思います。親子で1つの作品を制作するというのも、長期休業中にしかできない貴重な体験だと思えます。保護者の皆様のご指導・ご支援に感謝いたします。

たくさん紹介したいのですが、紙面の関係でいくつかの素晴らしい作品を紹介します。



1年 伊壺 玲加

あさがお

生活科で育てたあさがおと同じ色の花にして再現。



1年 三浦 耀仁

すつとあくよ ぼくのれじ

本物のようにレジの引き出しがすつと出てくるすごい仕組み。



2年 伊藤 帆菜

おえかきスマホ

実際に黒い部分に綿棒で線が描ける工夫が面白い。



2年 田中 心

くらかけやま

家族で鞍掛山に登山。山の植物や動物との出会いを写真で。



3年 藤原 彩

チャグチャグ馬コ

布やリボン・毛糸・鈴等で本物同様の飾りつけ、郷土愛を感じる工作。

3年 千葉 陽

400わづる

1cmに満たない小さい折り鶴を折る器用さと根気強さがすばらしい。





4年 渡辺 紘也
「調味料入れ」
持ち手や打掛がついていて持ち運びも可能。

4年 千葉 楓華
「遊べる金魚すくい」
個包装のあめ玉に目をつけて金魚を表現、ポイも上手に制作。



5年 玉城 カナエ
「ティースタンド」
毎日のバッティング練習に使える優れもの、高さ調整もできる。

5年 長山 紗也
「自動はんばい機」
ボタンを押すと缶ジュースが出てくる仕組み。



6年 白砂 快
「竹リョーシカ」
マトリョーシカならぬ竹リョーシカ、あじのある色付け。

6年 大森 創護
「ルアー」
本物の魚のようなフォルムと色使い、実際にソイが釣れたそう。



キャップハンディ体験を実施しています

様々な体験を通して障がいのある方々への理解を深め、自分ができていることを考える機会にすることをねらいとして、キャップハンディ体験学習を実施しています。6年生は、松実会地域包括センターの方々と担任の伊藤教諭による劇を通して、認知症について学びました。1・2年生は、滝沢市福祉協議会の方々のお世話で、ユニバーサルスポーツを体験しました。6年生は認知症の方の心に寄り添った行動をとることが大切であることに気付くことができました。

今後3年生は手話サークルわすれな草の方から手話を、4年生は点字サークルステップの方から点字について教えていただきます。さらに5年生は滝沢市社会福祉協議会の方のご指導のもと、白杖体験を行うことで、障がいについての理解を深めます。

